

ふるさとの自然と文化の体験活動

美東町立美東中学校（現在：美祢市立美東中学校）

学校の概要

① 学校規模

- 学級数：7学級
- 生徒数：145人
- 教職員数：16人
- 活動の対象学年：1年生・55人

② 体験活動の観点などからみた学校環境

- 本校所在地である美東町大田は、山口県のほぼ中央部の秋吉台の南東に位置する。農業を中心とした地域で、周囲の自然環境は非常に豊かである。近くには奈良時代に東大寺の大仏を鑄造するための銅を産出した長登銅山跡がある。
- 本校は1学年2クラスの小規模な学校であるが、1町1校で校区が非常に広いので、生徒は様々な規模の5小学校から1つの中学校に集まってくる。

③連絡先

- 〒754-0211
美祢郡美東町大田6258番地
- 電話：08396-2-0521
- FAX：08396-2-0522
- 電子メール：mitou-08@c-able.ne.jp

体験活動の概要

① 活動のねらい

- 十種ヶ峰宿泊研修
 - ・ PA（プロジェクト・アドベンチャー）体験等で協力して困難な課題を解決する体験を通して、5小学校から集まった生徒の人間関係を深め、これからの中学生生活をスムーズに過ごせるようにする。
- 長登銅山宿泊体験学習
 - ・ ふるさとの歴史的遺跡である長登銅山の体験学習を行うことによって、生徒が自分のふるさとをより深く知り、ふるさに誇りをもたせる。

② 活動内容と教育課程上の位置付け

- 十種ヶ峰宿泊研修
(総合的な学習の時間12単位時間、学級活動4単位時間、学校行事12単位時間)
- 長登銅山宿泊体験学習
(総合的な学習の時間31単位時間、学級活動1単位時間、学校行事9単位時間)

1 活動に関する学校の全体計画

(1) 活動のねらい

① 十種ヶ峰宿泊研修

本校の生徒は町内5小学校から集まってくる。そのため、入学当初は人間関係に不安を覚える生徒が多い。入学当初のこの時期に宿泊研修を実施して、寝食をともにしながら、ハイキング、PA、野外炊飯など協力を必要とする様々な活動を経験させることで、生徒同士の人間関係を密にしこれからの中学生生活をスムーズに過ごせるようにしたい。

② 長登銅山宿泊体験学習

美東町の長登銅山で産出した銅が奈良東大寺の大仏の鑄造に使用されたことは町内では有名である。しかし、生徒は銅鉱石がどのようなもので、どこで掘られ、どのように

して銅を取り出すのか、大仏はどのようにして鑄造されたのかはほとんど知らない。そこで、長登銅山に関する様々な体験活動を実施し、体験を通して理解させたい。また、美東町は秋吉台のふもとで鍾乳洞が非常に多いので、洞窟合唱を行い自然の神秘を実感させたい。

これらの体験により、ふるさとの自然と文化ををより深く知り、誇りをもたせたい。

(2) 全体の指導計画

① 十種ヶ峰宿泊研修

月日	教育課程と時数	生徒の活動
5/29 ～ 6/15	総合：6 学活：2	美東中の総合学習のオリエンテーション 十種ヶ峰宿泊研修の準備(宿泊研修の目的・スローガンの決定、スタンツの練習、班編成、仕事分担、しおりの作成) 十種ヶ峰宿泊研修事前指導
6/17 ～ 6/19	総合：6 学校行事：1 2	十種ヶ峰宿泊研修【17日：津和野～十種ヶ峰10kmのハイキング、 18日：森のチャレンジコース(PA)、キャンドルサービス(スタンツ)、 19日：野外炊飯】
6/21	学活：2	十種ヶ峰宿泊研修のまとめ

② 長登銅山宿泊体験学習

月日	教育課程と時数	生徒の活動
7/10	総合：2	長登銅山宿泊体験学習の説明 事前学習(奈良東大寺に関するDVDの視聴、資料による学習)
7/17	総合：1	長登宿泊体学習の活動班、生活班、部屋割りの決定 ※活動班は体験学習の班で、学年全体を3グループに分ける。 デジカメの使い方、メモのとり方の学習
8/16	総合：2	長登宿泊学習事前指導(生徒)、事前準備(学校支援委員会)
8/17 ～ 8/19	総合：9 学校行事：9	長登銅山宿泊体験学習 A:長登銅山跡の見学、鉱石の採集 B:銅製錬・銅鑄造の体験 C:美東町、秋芳町、山口市の遺跡見学 各活動班が、A～Cの 体験活動を3日間かけて 行う。 17日夜：講話「長登銅山と奈良東大寺」、18日夜：洞窟合唱
9/3	学活：1	礼状の書き方指導、指導者の方への礼状作成
9/14～9/25	総合：6	長登宿泊学習発表準備(発表用のビデオ、プレゼン、大判用紙、模型等の制作)
10/25,26	総合：6	発表練習(発表原稿作成、発表分担、発表練習)
10/28	総合：4	美中祭(総合的な学習の発表)
10/30	総合：1	美中祭の後始末と感想

2 活動の実際

(1) 十種ヶ峰宿泊研修 山口県十種ヶ峰青少年野外活動センター

○ 事前指導

- ・活動の目的を達成させるため、生徒同士で研修目的やスローガンを考えさせた。
- ・班の仲間意識を高めるため、キャンドルサービスでのスタンツの練習に時間を割いた。

○ 活動の展開

- ① 津和野から野外活動センターまでの10kmのハイキングを全員で行った。
- ② センター職員3人、外部講師1人の計4人の指導のもと、森のチャレンジコースを体験した。仲間と協力しながら様々な困難な課題を克服していくもので、仲間との信頼感が培われる。
- ③ キャンドルのつどいで、学校で練習したスタントを披露した。
- ④ 野外で班ごとに協力してカレーライスをつくった。



↑ ハイキング
← 森のチャレンジコース (PA)



○ 事後指導

- ・ 毎日の活動終了後に、生徒にしおりの振り返りシートを記入させ、担任がそれを読んでアドバイスをした。
- ・ 研修終了後、右の写真のような絵日記形式で感想をかかせた。それを校内に掲示し、お互いの感想を見合った。

(2) 長登銅山宿泊体験学習 山口県秋吉台少年自然の家

○ 事前指導

- ・ 長登銅山と奈良東大寺の関係について、資料やDVDを使って学習した。
- ・ 危険を伴う活動のため、ヘルメットの着用、マムシ対策、給水等の安全指導も行った。

○ 活動の展開

- ① 奈良時代に銅鉱石を掘っていた樞が葉山に登り、奈良時代の坑道に入ったり、山頂付近に残っている銅鉱石や鉄鉱石の採集を行ったりした。
- ② 奈良時代に行われていた銅製錬の際に使われた円形縦型炉の構築の手伝いや銅製品の鑄造体験を行った。
- ③ 山口市、秋芳町、美東町に点在する古墳時代から江戸時代までの遺跡を見学し、山口県立博物館で山口県の地質について学習した。
- ④ 地域の専門家の方から「長登銅山と奈良東大寺」と題した講話を聞き、長登銅山で製錬された銅がどのようにして奈良に運ばれ大仏の鑄造に使われたかを学習した。
- ⑤ 宿泊先の近くにある観光客のいなくなった夜の景清洞の中で、「校歌」と「自分らしく」の2曲を全員で合唱した。



3 体験活動の実施体制

- 学校支援委員会（長登銅山宿泊体験学習）

美東町教育委員会教育長、美東町教育委員会教育委員長

長登銅製錬愛好会長、長登銅製錬愛好会員、鋳物師（銅鑄造の専門家）

美東町教育委員会社会教育課長、美東町教育委員会社会教育課文化係長

※当日講師 九州大学名誉教授、九州大学総合研究博物館准教授

【活動内容】

体験活動プログラムの作成、体験活動のために物品等の準備、体験活動の指導・支援
総合的な学習の発表のためのアドバイス・支援

4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

- 体験活動のしおりに振り返りシートを入れ、毎日活動終了後記入し担任に提出させた。
- 体験活動終了後、十種ヶ峰宿泊研修では研修のまとめを行い校内掲示をした。長登体験学習では、体験学習の成果をまとめ、文化祭で保護者、地域の方々の前で発表した。

5 活動の成果と課題

（1）成果

① 十種ヶ峰宿泊研修

仲間とともに苦しみを乗り越える貴重な体験をした。協力すること、助け合うことの大切さを一人ひとりが胸に刻み、その後の班活動、学級活動に生かしている。

② 長登銅山宿泊体験学習

生徒は初めて見る銅鉱石や坑道に非常に興味を抱いていた。また、精錬炉の構築や銅の鑄造体験にも一生懸命に取り組んでいた。その後の総合的な学習の発表の準備でも、町内の他の銅鉱山を調べたり、精錬炉の模型の制作をしたり、美東町の良いところを探しビデオCMを作成したりするなど、ふるさと美東町に目を向ける生徒がふえた。

また、体験活動を通して地域の方々と交流ができ、文化祭の発表を見に来られた。

（2）課題

2年次は①の体験活動の宿泊先が山口県十種ヶ峰青少年野外活動センターから国立徳地青少年自然の家になる。1年次の取り組みの成果をもとにし、徳地に合った活動プログラムを立案していきたい。また、②の体験活動については、実施時期を8月から11月に変更する。そのために準備計画や体験活動の成果のまとめ方を検討したい。

さらに、体験活動前と体験活動後でどのように変容したかを多面的に評価できるよう工夫をしていきたい。